

# 赤旗スクープ、与党過半数割れの決定打に



イラストは吉川区長峰での演説風景。

超短期決戦だった衆院選も終わりました。与党の自公勢力が過半数割れを起こし、野党第1党の立憲民主党が大躍進する結果となりました。自民の惨敗は久しぶりですが、常勝公明党も石井代表が落選するなどこれで見ることがない状況となりました。この結果は、「しんぶん赤旗」がスクープした裏金づくりが大きく響いたものです。特に最終盤の、裏金非公認候補への2000万円支給報道は決定打となりました。

ただ、残念ながら、日本共産党は宣伝戦で自公勢力を追い込む大健闘をしたものの、組織戦が不十分に終わり、現有議席（10議席）を下回る8議席にとどまりました。上越市では、2022年参院選での結果（3880票、得票率4.58%）を上回る（4193票、得票率4.65%）数字でしたが、2021年総選挙（5256票、5.11%）よりも下回りました。

## 宇宙飛行士・毛利衛さんの講演や美術展も 高田高校創立150周年記念事業



上のイラストは記念講演をする毛利衛さんです。

下のイラストは記念美術展で作品を観る人たちの大島画廊にて。

新潟県立高田高等学校の創立150周年記念式典、記念講演が10月26日、文化会館で行われました。宇宙飛行士・毛利衛さんの講演は、「宇宙の地球人としての私たち」というタイトルで話され、高校生たちにどう生きるかを語りかけた素晴らしい内容でした。自分の好きな勉強を見つけて、みんなが自分の能力に最大限挑戦することで、人類が生き延びられる可能性を広げていく。大事なことですね。

大島画廊で開催の記念美術展は宮崎俊英さんから案内していただき、鑑賞しました。高田世界館などの活動で頑張っている岸田國昭さんの作品の独自の世界にはびっくりしました。同級生2人の作品も出ていました。いつも頑張っています。このところ大活躍の柿崎区直海浜の光徳寺の坊守さんとも一緒になりました。



【ツルニンジン】キキョウ科のつる性多年草。漢字で「蔓人參」と書きます。これまで私は吉川区山直海で一度見たことがあるだけで、なかなか花と出会うことができませんでした。それが今年の10月2日、わが家の庭で咲いたのです。花の外側は淡緑色で、内側は紫色の斑紋があります。花言葉は「優雅な魅力」「感謝」です。



見ている方がはずかしくなるほどラブラブなコウノトリの夫婦。27日朝、吉川区にて撮影しました。

## はしづめ法一の 活動レポート

No.2177 2024.11.3

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第八二五回 大きなムカゴ

携帯電話で高崎市の従姉(いとこ)の声を聞いた時、いままでになく元気がないなと思いました。衆議院選挙も後半に入った頃だったと思います。「これは早めに会って、励ましてこなきゃ」と思いました。

出かける前に、『コウノトリさん、ありがとね』の歌が入っているDVDとCD、それに大きなムカゴ(イモゴとも呼ぶ)を二個用意しておきました。これらが一番喜んでもらえると思ったからです。そして選挙が終わった翌日の午後、上越妙高駅から新幹線に乗って高崎市に向かいました。

新幹線に乗り、高崎駅から歩いて従姉の家に着いたのは午後二時半頃でした。

出迎えてくれたのは従姉の次女・K子さんです。従姉が一人暮らしだと思っていたので、K子さんの姿を見たとき、ホッとしました。居間に入ってから、ソファアに座らせてもらい、すぐに従姉の顔を見ました。だいぶ弱っているのではと心配していたのですが、時々咳をするのが多少気になったものの、顔色は悪くはありませんでした。これならまだまだ大丈夫です。

従姉がいてくれたコーヒーをいただきながらまず話になったのは、K子さんの顔立ちです。「よく見ると、目はお父さんにそっくりだね」と言うと、「じつはまったく知らない人から突然、声をかけられたことがあるんです」という言葉が返ってきました。K子さんはお父さんのぱっちりした大きな目をそのまま引き継いでいます。お父さんの目を記憶している人が「子どもさんですか」と声をかけたくなるのも無理はありません。声も仕事も親に似ることがあるとよく言われますが、親そっくりの顔立ちには印象が強いですからね。

しばらくしてから、K子さんは、サツマイモを使ったスコーン(パン菓子)を出してくれました。従姉が「ちっちゃっと作ってくれるのよ」といったこのスコーン、一

個だけ食べましたが、とても美味しい。見た目もしゃれていて、味は間違いなくサツマイモです。小腹が空いたときのおやつにはぴったりだと思いました。

このスコーンを見て、スーツの上着のポケットに入れておいたムカゴを思い出ししました。ムカゴは私の事務所周辺で毎年たくさん採れる山芋の実です。今年は暑い日が続いたせいか、ほとんど見かけません。「どこかにないかなあ」と思っていたら、隣の集落のTさん宅の庭にありました。草花にからみついているイモツルにいくつものムカゴを見つけたのです。そこでTさんから、通常よりも四倍ほど大きい長さ二・五センチほどのムカゴをいただいたのです。

従姉は子どもの頃、(旧吉川町)尾神にあつたわが家で疎開生活をしていました。食糧難の時代、野山で採れる食べられるものは何でも食べていました。ムカゴもその中の一つです。私が高齢なムカゴを従姉の手のひらにのせると、びっくりしていました。これほどジャンボなムカゴはめったにありませんからね。それと、ムカゴの表面の小さなぶつぶつ、従姉はそれが人間の顔にも見えたようです。ムカゴをまじまじと見ながら喜んでくれました。そしてこう言ったのです。「今度、ヒナコが来たらあげよう」。ヒナコさんは従姉にとっては孫にあたります。高校生の頃、私と一緒に尾神岳に登り、ヤマボウシの実でジャムを作ってくれたことがあります。好奇心が旺盛です。喜ぶでしようね。

従姉はいま八八歳。従姉の体調を心配して、近くに住む安塚区高沢出身のパーマ屋さん(上越の銘酒を持参し励ましてくれたとか。従姉は家族だけでなく、近所の人たちにも支えられて頑張っています。従姉は最後に言いました。生きていますうちに、もう一度尾神に行きたい、と。その願いは必ず実現させてあげたいと思います。

## 県知事杯争奪尾神岳スカイグランプリ2024

10月26日午前、新潟県知事杯争奪尾神岳スカイグランプリ2024の開会式に参加してきました。大会には全国から67人の選手がエントリー。天気はまずまずで良かったです。

開会式後、運営スタッフからこの競技の歴史、競技の種類、ルールなどについて教えてもらい、勉強になりました。美味しい尾神ソバもいただいてきました。



## 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	10月23日(水)	10月30日(水)
上越消防署	0.053	0.050
上越南消防署	0.047	0.043
新井消防署	0.050	0.053
頸北消防署	0.053	0.057
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.047	0.047
名立分遣所	0.060	0.057
高士分遣所	0.050	0.053

## コウノトリの記録写真、吉川コミプラで展示



### コウノトリ、観察記録写真

コウノトリのペアが兵庫県豊岡市から上越市吉川区に飛来したのは3月でした。産卵し、抱卵を開始したのは4月2日。最初のヒナが誕生したのは5月6日です。その後、誕生したヒナは全部で4羽になり、どんどん成長していきます。そして巣立ちの準備がはじまり、7月13日に2羽が巣立ち、14日に1羽、16日に最後の1羽が大空へ飛び立ちました。

吉川コミュニティセンターで2日、3日と開催の生涯学習フェスティバルにおいて、私が撮影したコウノトリの記録写真70枚を6枚のパネルで紹介いたします。会場は3階。午前9時半〜午後4時(3日は午後3時)までです。